



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月28日

上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社

コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山路 直貴

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務取締役 (氏名) 清水 伸二 TEL 075-277-2361

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	60,209	10.9	7,059	85.7	6,925	79.5	4,232	115.2
	54,271	18.9	3,802	617.5	3,857	593.0	1,967	556.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 6,332百万円 (137.5%) 2025年3月期第3四半期 2,666百万円 (43.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 421.99	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	205.46	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円 109,509	百万円 54,283	% 44.3	円 銭 4,569.72
2025年3月期	97,113	44,504	39.9	4,044.52

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 48,489百万円 2025年3月期 38,729百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 45.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 100.00
2026年3月期	—	60.00	—		
2026年3月期(予想)				90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日（2026年1月28日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 81,000	% 10.6	百万円 9,600	% 79.4	百万円 9,500	% 65.6	百万円 5,300	% 105.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年1月28日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	10,684,321株	2025年3月期	10,684,321株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	73,203株	2025年3月期	1,108,487株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	10,030,688株	2025年3月期 3Q	9,573,868株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国の金融政策の動向や中国経済の減速懸念、欧州における地政学的リスクなどを背景に、先行き不透明な状況が続き、景気回復は力強さを欠く状況で推移しました。日本経済は、為替動向の影響により輸出関連企業の収益に一定の下支え効果が見られた一方で、原材料価格や人件費の上昇、物価高の影響などにより個人消費は力強さを欠き、設備投資を中心に持ち直しの動きがみられるにとどまりました。

当第3四半期連結累計期間の業績としましては、『電子・情報』セグメントのハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料や『環境・エネルギー』セグメントの電池用材料の負極用水系複合接着剤が大幅に伸長したことから、売上高は602億9百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

損益面につきましては、『電子・情報』セグメントや『環境・エネルギー』セグメントの売上高が伸長したことにより、営業利益は70億59百万円（前年同期比85.7%増）、経常利益は69億25百万円（前年同期比79.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は42億32百万円（前年同期比115.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントの区分を、材料別の「界面活性剤」、「アメニティ材料」、「ウレタン材料」、「機能材料」、「電子デバイス材料」、「ライフサイエンス」の6セグメントから、分野別の「電子・情報」、「環境・エネルギー」、「ライフ・ウェルネス」、「コア・マテリアル」の4セグメントへ変更しております。また、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間の数値と比較しております。

#### <電子・情報>

電子・情報セグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、モニターに用いられる特殊界面活性剤およびディスプレイ材料のフレームに用いられる難燃剤が低調に推移しましたが、ハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料は大幅に伸長しました。

海外では、ディスプレイ材料のフレームに用いられる難燃剤が大きく落ち込みましたが、ハイエンドサーバー向け低誘電樹脂材料は大幅に伸長しました。

その結果、当セグメントの売上高は221億66百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

営業利益は、売上高が伸長したことにより、45億61百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

#### <環境・エネルギー>

環境・エネルギーセグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油が低調に推移しました。モビリティの電装部材に用いられる基板用封止剤や接着剤は大幅に伸長しました。太陽電池用途の高性能導電性ペーストは大幅に伸長しました。

海外では、電池用材料の負極用水系複合接着剤が前期末に立ち上がったことで、大幅に伸長しました。太陽電池用途の高性能導電性ペーストは大きく落ち込みました。

その結果、当セグメントの売上高は160億39百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、17億73百万円の営業利益（前年同期は2億13百万円の損失）となりました。

#### <ライフ・ウェルネス>

ライフ・ウェルネスセグメントの売上高は、総じて堅調に推移しました。

国内では、石鹼・洗剤用途および食品用途のショ糖脂肪酸エステルが堅調に推移しました。

海外では、ショ糖脂肪酸エステルの香粧品用途及び食品用途は堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は105億64百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

営業利益は、ショ糖脂肪酸エステルを中心に採算性が改善したことにより、5億16百万円（前年同期比71.6%増）となりました。

## &lt;コア・マテリアル&gt;

コア・マテリアルセグメントの売上高は、総じて低調に推移しました。

土木・建築用途のトンネル崩落防止剤が堅調に推移しました。ゴム・プラスチック製品加工用途の難燃剤は低調に推移しました

その結果、当セグメントの売上高は114億38百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、2億8百万円の営業利益（前年同期比32.4%増）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は661億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億68百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が26億10百万円、受取手形及び売掛金が34億85百万円増加したことなどによるものです。固定資産は433億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億27百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が18億63百万円、建設仮勘定が14億89百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は1,095億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ123億96百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は341億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億22百万円増加しました。これは主に、賞与引当金が3億62百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が35億19百万円、短期借入金が9億5百万円、未払金などのその他（流動負債）が19億52百万円増加したことなどによるものです。固定負債は210億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億5百万円減少しました。これは主に、長期借入金が44億8百万円、リース債務が11億28百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は552億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億17百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は542億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億78百万円増加しました。これは主に、公募による自己株式の処分等により資本剰余金が30億58百万円増加し、自己株式が22億86百万円減少したことに加え、親会社株主に帰属する四半期純利益42億32百万円及び剰余金の配当11億61百万円などにより利益剰余金が30億71百万円、その他有価証券評価差額金が14億37百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は44.3%（前連結会計年度末は39.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年1月28日）公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	16,751	19,362
受取手形及び売掛金	19,842	23,328
电子記録債権	2,316	2,839
商品及び製品	11,987	12,448
仕掛品	18	19
原材料及び貯蔵品	3,894	5,148
前払費用	420	598
その他	2,029	2,380
貸倒引当金	△13	△10
流动資産合計	57,247	66,115
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,449	12,256
機械装置及び運搬具（純額）	5,524	5,774
工具、器具及び備品（純額）	1,199	1,362
土地	10,027	10,158
リース資産（純額）	1,756	1,494
建設仮勘定	440	1,930
有形固定資産合計	31,398	32,977
無形固定資産	250	264
投資その他の資産		
投資有価証券	5,694	7,557
長期貸付金	9	8
長期前払費用	387	451
繰延税金資産	124	132
退職給付に係る資産	1,631	1,633
その他	369	368
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,215	10,150
固定資産合計	39,865	43,393
<b>資産合計</b>	<b>97,113</b>	<b>109,509</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	13,484	17,003
電子記録債務	500	636
短期借入金	6,300	7,206
リース債務	523	1,334
未払費用	320	401
未払法人税等	927	1,519
未払事業所税	42	32
賞与引当金	1,461	1,098
その他	2,971	4,923
<b>流動負債合計</b>	<b>26,532</b>	<b>34,155</b>
<b>固定負債</b>		
社債	6,000	6,000
長期借入金	17,114	12,705
リース債務	1,412	283
繰延税金負債	1,118	1,664
退職給付に係る負債	77	69
資産除去債務	74	74
その他	278	271
<b>固定負債合計</b>	<b>26,075</b>	<b>21,070</b>
<b>負債合計</b>	<b>52,608</b>	<b>55,225</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>8,895</b>	<b>8,895</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>7,275</b>	<b>10,334</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>21,575</b>	<b>24,646</b>
<b>自己株式</b>	<b>△2,449</b>	<b>△162</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>35,296</b>	<b>43,714</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>1,606</b>	<b>3,043</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>1,412</b>	<b>1,355</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>413</b>	<b>376</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>3,432</b>	<b>4,775</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>5,775</b>	<b>5,793</b>
<b>純資産合計</b>	<b>44,504</b>	<b>54,283</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>97,113</b>	<b>109,509</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	54,271	60,209
売上原価	40,886	42,457
売上総利益	13,384	17,752
販売費及び一般管理費	9,581	10,692
営業利益	3,802	7,059
営業外収益		
受取利息	26	31
受取配当金	79	95
持分法による投資利益	31	29
為替差益	79	—
その他	136	123
営業外収益合計	354	280
営業外費用		
支払利息	175	186
社債利息	28	28
為替差損	—	109
その他	95	91
営業外費用合計	299	414
経常利益	3,857	6,925
特別損失		
固定資産処分損	42	119
特別損失合計	42	119
税金等調整前四半期純利益	3,814	6,806
法人税、住民税及び事業税	671	1,946
法人税等調整額	332	△105
法人税等合計	1,003	1,841
四半期純利益	2,811	4,965
非支配株主に帰属する四半期純利益	844	732
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,967	4,232

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,811	4,965
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	1,437
為替換算調整勘定	△187	28
退職給付に係る調整額	△31	△36
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△61
その他の包括利益合計	△144	1,367
四半期包括利益	2,666	6,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,925	5,576
非支配株主に係る四半期包括利益	741	756

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月25日の取締役会決議に基づき、2025年9月9日を払込期日とする公募による自己株式の処分(1,000,000株)を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が29億41百万円増加し、自己株式が22億9百万円減少しております。

この自己株式の処分等の結果、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金が103億34百万円、自己株式が△1億62百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,415百万円	2,353百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高 顧客との契約から生じる収益	18,762	13,333	10,451	11,723	54,271
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高 又は振替高	18,762	13,333	10,451	11,723	54,271
計	18,762	13,333	10,451	11,723	54,271
セグメント利益又は損失（△） (営業利益又は営業損失)	3,557	△213	301	157	3,802

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高 顧客との契約から生じる収益	22,166	16,039	10,564	11,438	60,209
外部顧客への売上高 セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,166	16,039	10,564	11,438	60,209
計	22,166	16,039	10,564	11,438	60,209
セグメント利益（営業利益）	4,561	1,773	516	208	7,059

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間の期首より、当社グループの報告セグメントの区分を、従来の「界面活性剤」、「アメニティ材料」、「ウレタン材料」、「機能材料」、「電子デバイス材料」、「ライフサイエンス」から、各分野の特性に応じた戦略立案、ステークホルダーの事業内容理解促進、効率的な管理・分析を可能にし、企業の成長を促進するため、「電子・情報」、「環境・エネルギー」、「ライフ・ウェルネス」、「コア・マテリアル」の4セグメントへ変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称および区分方法により作成したものを記載しております。